メジャーポートⅡ Rタイプワイド

取付説明書 ― 基本・縦連棟 ―

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠注 意	●取付けを誤った場合に、使用者などが中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

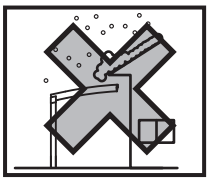
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

⚠注 意

●製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
・積雪（新雪）20cmを超えない地域に設置してください。
・建物の屋根から雪の落雪を直接受けない位置に設置してください。
・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。
排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。



・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。

＜基礎工事について＞

・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（軟弱な地盤等）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

⚠ 注 意

＜施工の際に＞

・柱の移動は当社指定範囲内にしてください。
・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
・ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
・シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコーン	トスシール380
トーレシリコーン	SE960

＜施工の後に＞

□ボルト、ネジを増し締めしてください。
□取扱説明書は施主様にお渡しください。

D416_200804B
MAL-438_200804B

INDEX

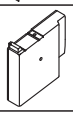
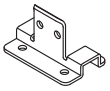
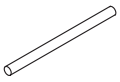
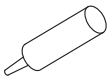
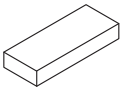
1　梱包明細表…… 4
2　基本寸法と各部名称…… 7
　1．各部名称…… 7
　2．基本寸法…… 8
3　基本の施工方法…… 10
　1．基礎の施工…… 10
　2．柱と梁の取付け…… 11
　3．ワイド棟木・母屋・後枠の取付け…… 12
　4．側枠・アーチの取付け…… 13
　5．屋根パネルの取付け…… 14
　6．竪樋の取付け…… 16
4　縦連棟および延長タイプの施工方法…… 17
　1．基礎の施工…… 17
　2．本体の連結…… 19

D416_200703A
MAL-438_200703A

1　梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【1】部品セット

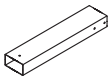
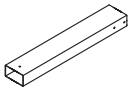
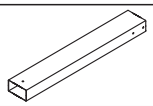
名　称	略　図	員　数		
		50型	57型	14型
後枠コーナーキャップR		2	2	—
後枠コーナーキャップL		2	2	—
ブラケットカバーR		4	4	2
ブラケットカバーL		4	4	2
ワイド棟木取付金具		4	4	2
ワイド棟木キャップ		2	2	—
アンカー棒		4	4	2
ブチルシーリング材		2	2	1
穴隠しシール		40 (48)	40 (48)	20 (24)
雨樋アタッチメント		2	2	2
雨樋穴ふさぎキャップ		2	2	2
アタッチメントパッキン		4	4	4
ドレンエルボ　40φ用		2	2	2
92°エルボ　φ40用		4	4	4
でんでん		6	6	6
パネル緩衝材		48 (56)	48 (64)	16 (16)

【1】部品セット（つづき）

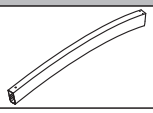
名　称	略　図	員　数		
		50型	57型	14型
接着剤		2	2	2
【1-1】M8×25六角ボルト（SW+PW）		24	24	12
【1-2】φ5×55サラタッピンネジ		4	4	2
【1-3】φ5×14トラスネジ		8	8	4
【1-4】φ4×10ワッシャーヘッドネジ		252（340）	276（374）	83（110）
【1-5】φ4×13ナベドリルネジ		94（112）	105（124）	28（32）
取付説明書	―	1	1	―

※（　）内は間口60型です。

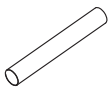
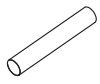
【2】主柱セット

名　称	略　図	員　数				
		2本入	1本入	ロング 2本入	ロング 1本入	H28 1本入
標準柱 H18		2	1	―	―	―
ロング柱 H23		―	―	2	1	―
ロング柱 H28		―	―	―	―	1
取扱説明書	―	1	―	1	―	1

【3】梁セット

名　称	略　図	員　数	
		2本入	1本入
梁		2	1

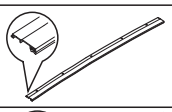
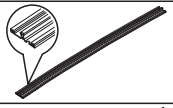
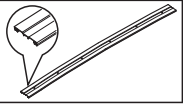
【4】竪樋セット

名　称	略　図	員　数	
		L3100	L1000
竪樋 L=3100　φ40		1	―
竪樋 L=1000　φ40		―	1

【5】ブラケットセット

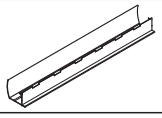
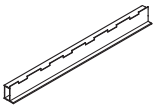
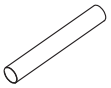
名　称	略　図	員　数
		2本入
ブラケット		2

【6】幅セット

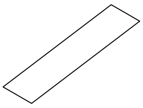
名　称	略　図	員　数	
		50型	57型
側枠R		1	1
側枠L		1	1
側枠カバー		2	2
アーチ		6	7
アーチカバー		6	7

■梱包明細表（つづき）

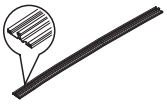
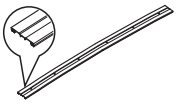
【7】長さセット

名　称	略　図	員　数								
		50型			57型			14型		
		2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入
後枠		1	1	1	1	1	1	1	1	1
母屋		2	3	4	2	3	4	2	3	4
竪樋　φ40		1	1	1	1	1	1	—	—	—

【8】屋根材セット

名　称	略　図	員　数	
		3枚入	4枚入
屋根パネル		3	4

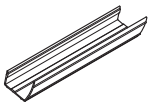
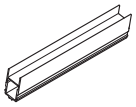
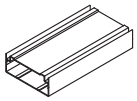
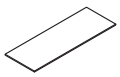
【9】連棟用幅セット

名　称	略　図	員　数		
		50型	57型	14型
アーチ		7	8	2
アーチカバー		7	8	2

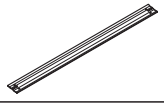
【10】ワイド棟木セット

名　称	略　図	員　数	
		50型	57型
ワイド棟木		1	1

【11】連棟部材セット

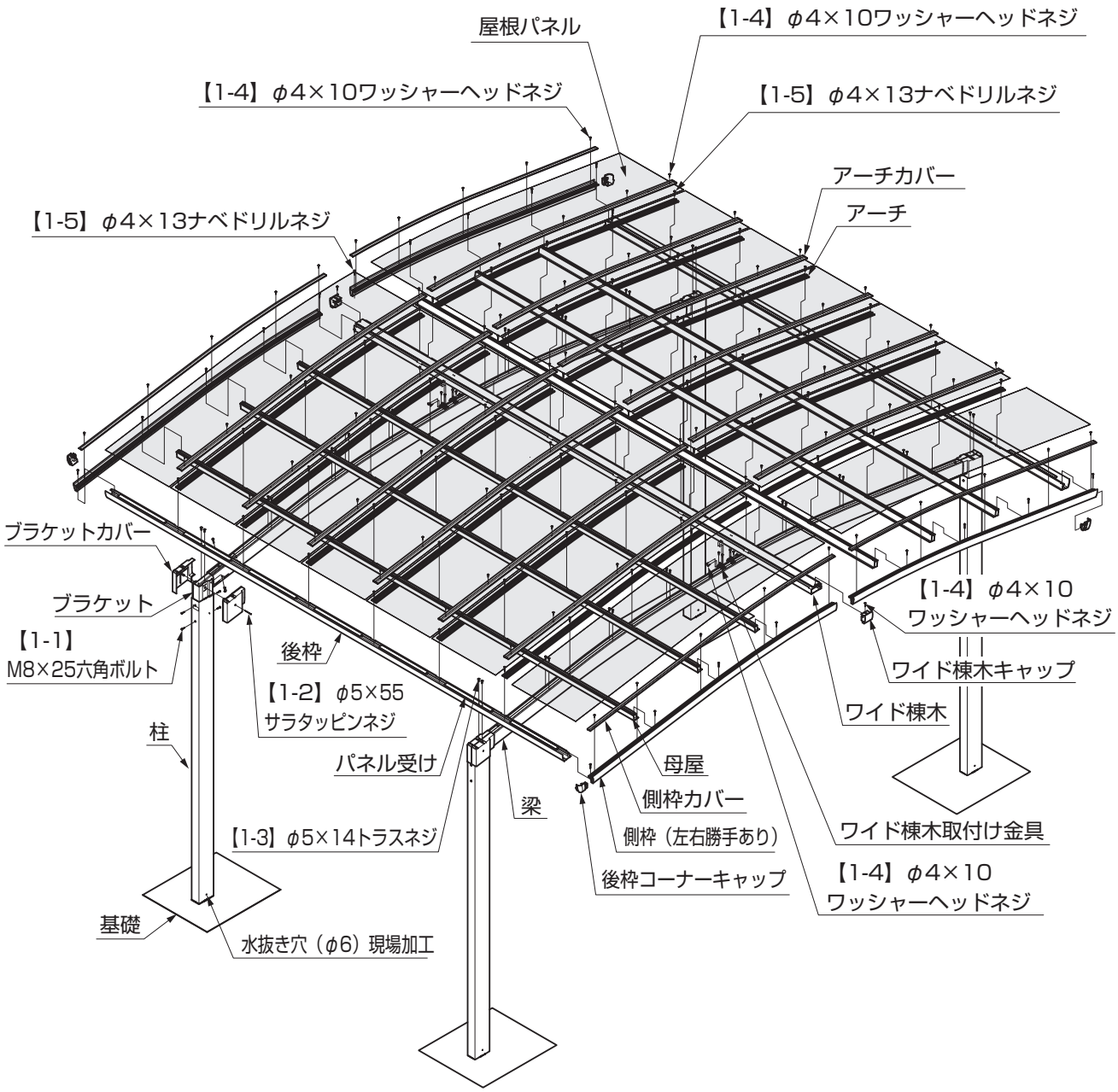
名　称	略　図	員　数	
		36～54用	60用
後枠スリーブ		2	2
母屋スリーブ		6	8
ワイド棟木スリーブ		1	1
ワイド棟木止水パッキン		1	1
【11-1】φ4×13 ナベドリルネジ		82	98

【12】屋根材ホルダーセット　オプション

名　称	略　図	員　数		
		50型	57型	14型
屋根材ホルダー		7	8	2
屋根材ホルダースペーサー		18	18	6
【12-1】φ5×13ナベドリルネジ		19	19	6
取付説明書	—	1	1	—

2　基本寸法と各部名称

1. 各部名称



2. 基本寸法

※図は標準柱仕様を示します。
（ ）はロング柱仕様、[ ]はH28柱仕様、〈〈 〉〉は間口60型を示します。

2-1 間口

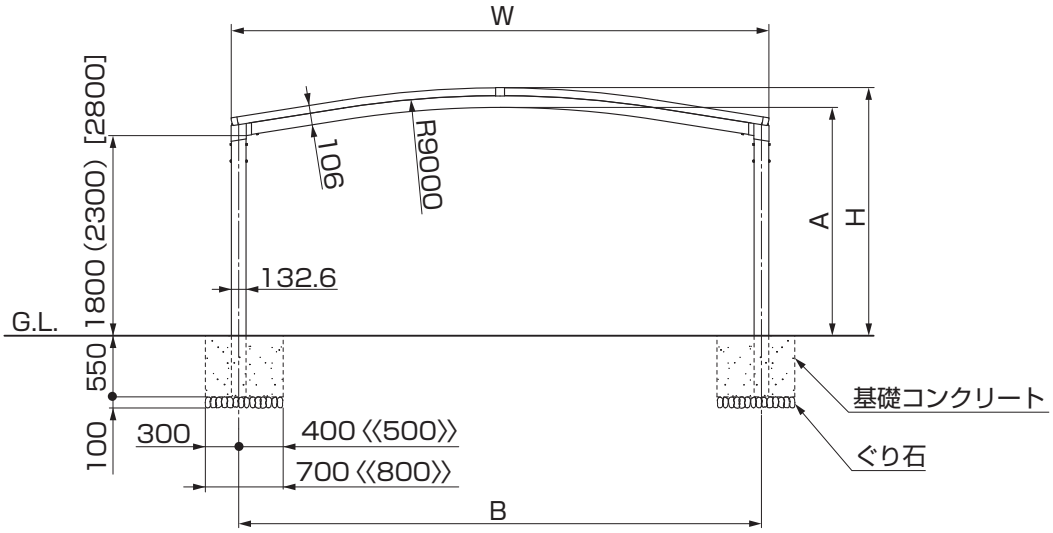
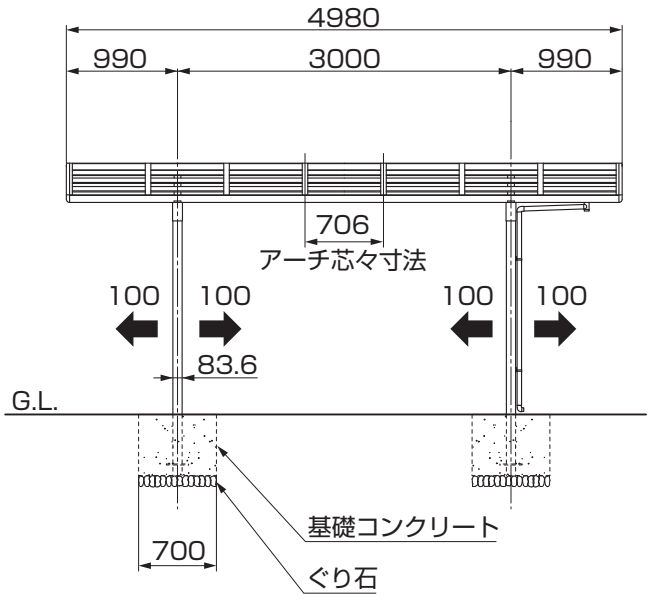


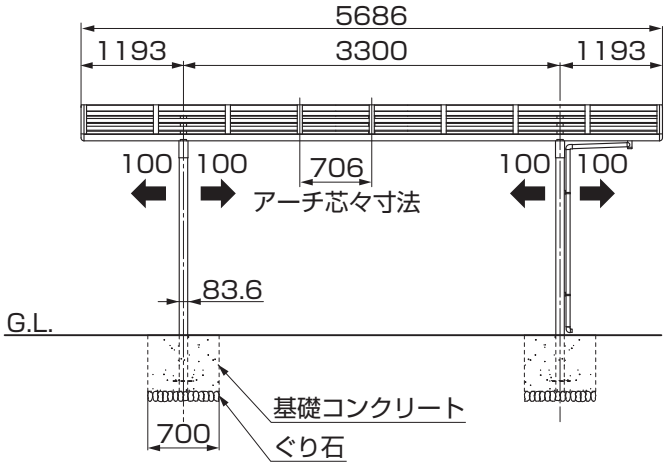
表2-1

サイズ	W	A	H	B
36	3625	1958 (2458) [2958]	2134(2634) [3134]	3491
42	4231	2006 (2506) [3006]	2182(2682) [3182]	4097
48	4836	2054 (2554) [3054]	2230(2730) [3230]	4703
51	5140	2078 (2578) [3078]	2254(2754) [3254]	5006
54	5443	2102 (2602) [3102]	2278(2778) [3278]	5309
60	6060	2218 (2718) [3218]	2394(2894) [3394]	5924

2-2 奥行き50タイプ ※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

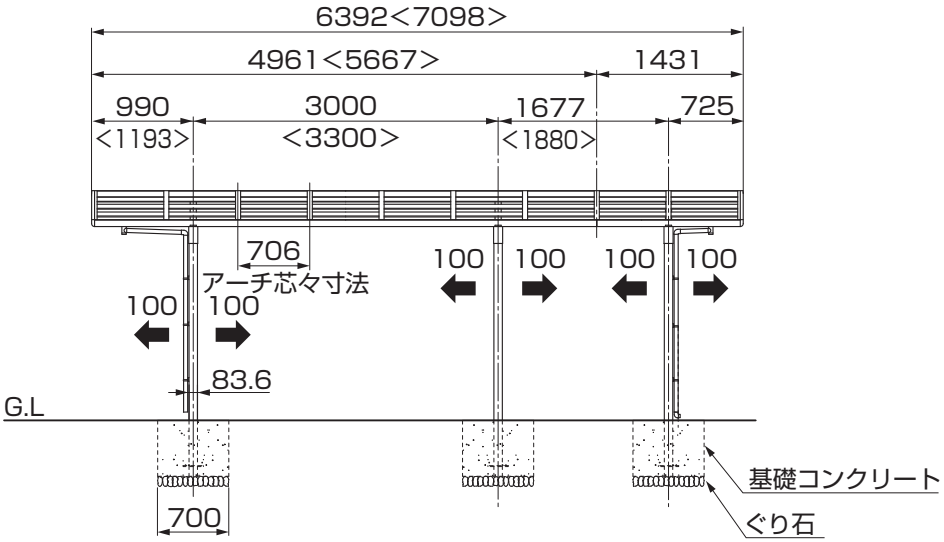


2-3 奥行き57タイプ ※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。



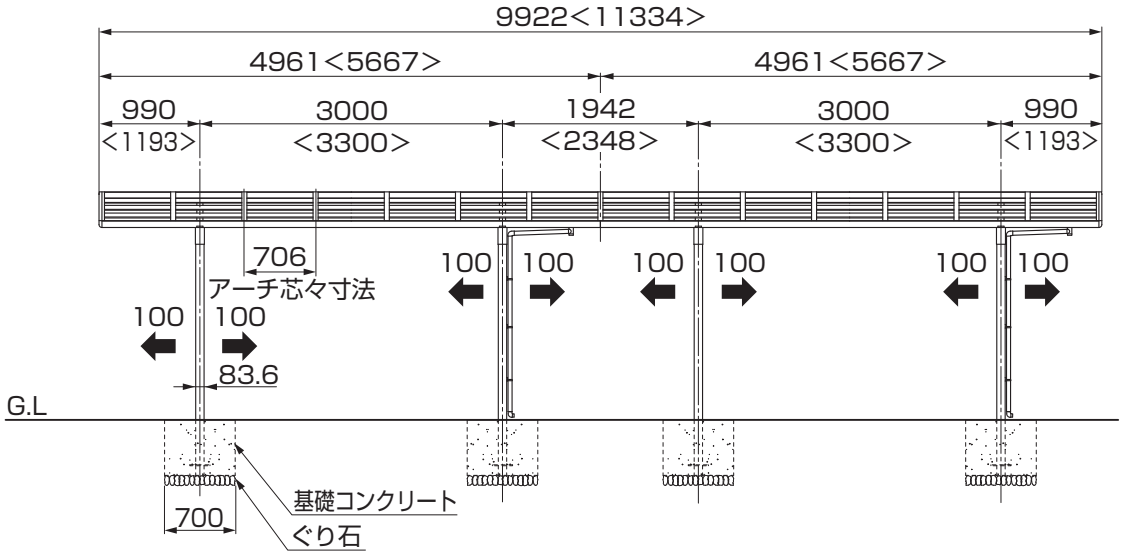
2-4 奥行き14延長縦連棟タイプ

※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。
※〈 〉は奥行き57型を示します。



2-5 奥行き縦連棟タイプ

※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。
※〈 〉は奥行き57型を示します。



3　基本の施工方法

1. 基礎の施工

1-1　基礎位置の墨出し

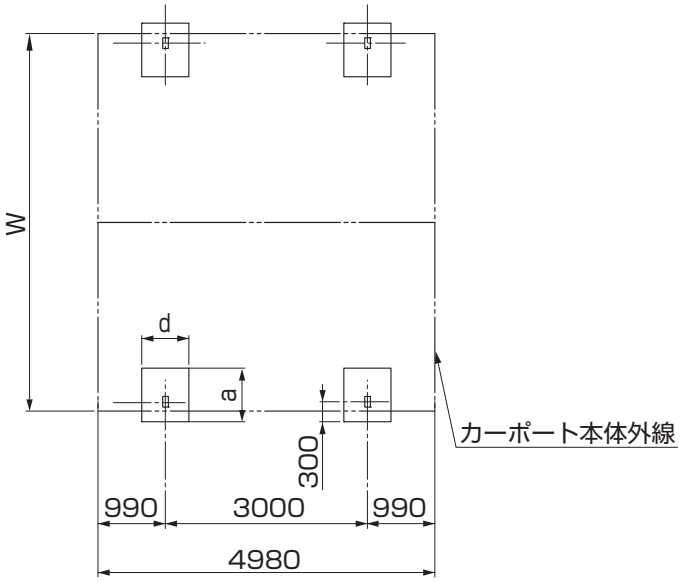


図1-1　50サイズ

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

ポイント

●間口サイズにより基礎穴の大きさが変わります。

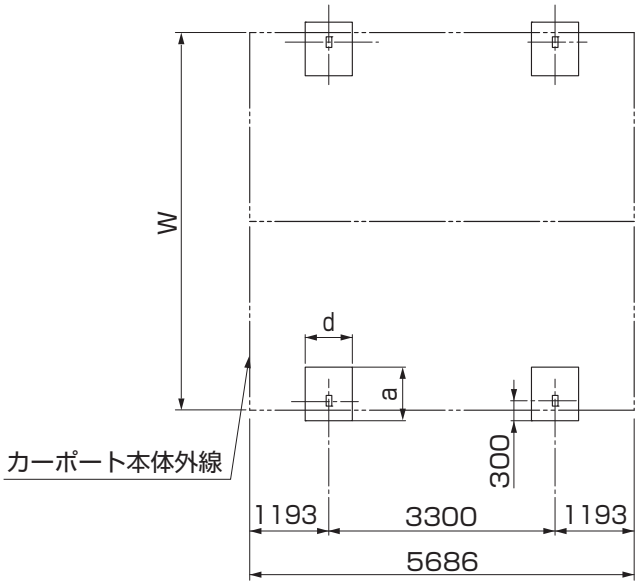


図1-2　57サイズ

表1-1

サイズ呼称	W	a		d	
		土間なし	土間コンクリート	土間なし	土間コンクリート
36	3625	700	400	700	300
42	4231	700	400	700	300
48	4836	700	400	700	300
51	5140	700	400	700	300
54	5443	700	400	700	300
60	6060	800	500	700	300

1-2 基礎寸法 ※土間コンクリート仕様の場合

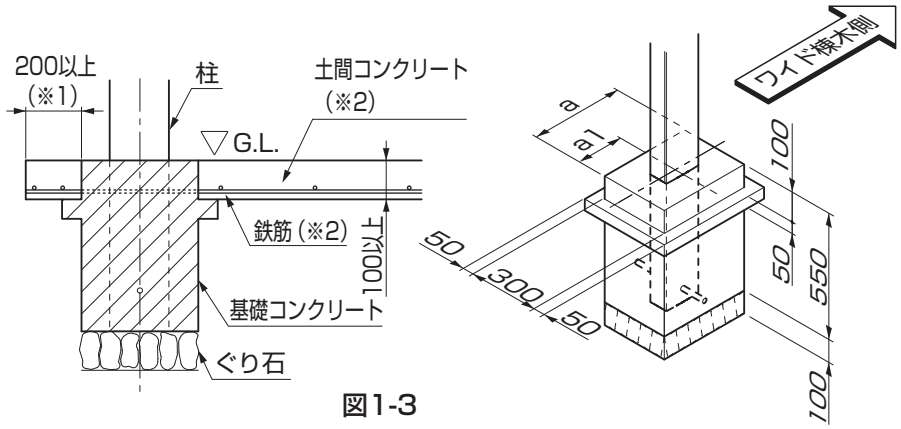


図1-3

表1-2

サイズ呼称	a	a1
36～54	400	200
60	500	250

ポイント

●基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※1)
●土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※2)

2. 柱と梁の取付け

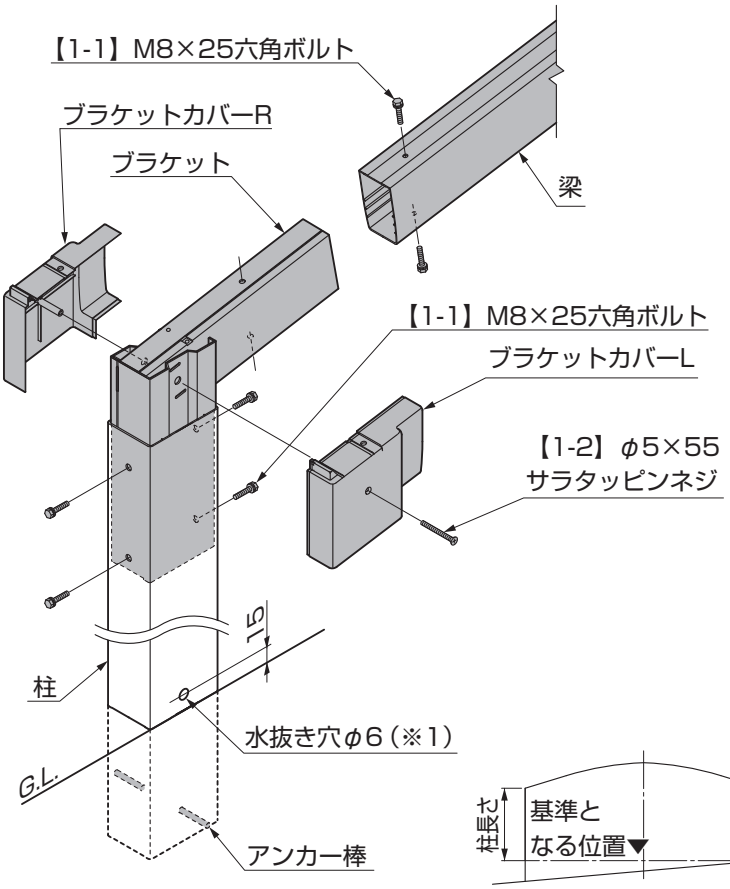


図2-1

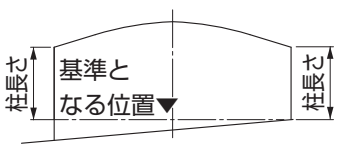


図2-2

①柱にアンカー棒を差込んでください。
②梁をブラケットに【1-1】で取付けてください。
③ブラケットを柱に【1-1】で取付けてください。
④ブラケットカバーR、ブラケットカバーLを【1-2】で取付けてください。

注意

●「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
●柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き穴をあけてください。(※1)

ポイント

●柱は基準となる位置から同じ高さとしてください。高さが違う場合は、ワイド棟木部に水がたまり、漏水するおそれがあります。
(図2-2参照)

3. ワイド棟木・母屋・後枠の取付け

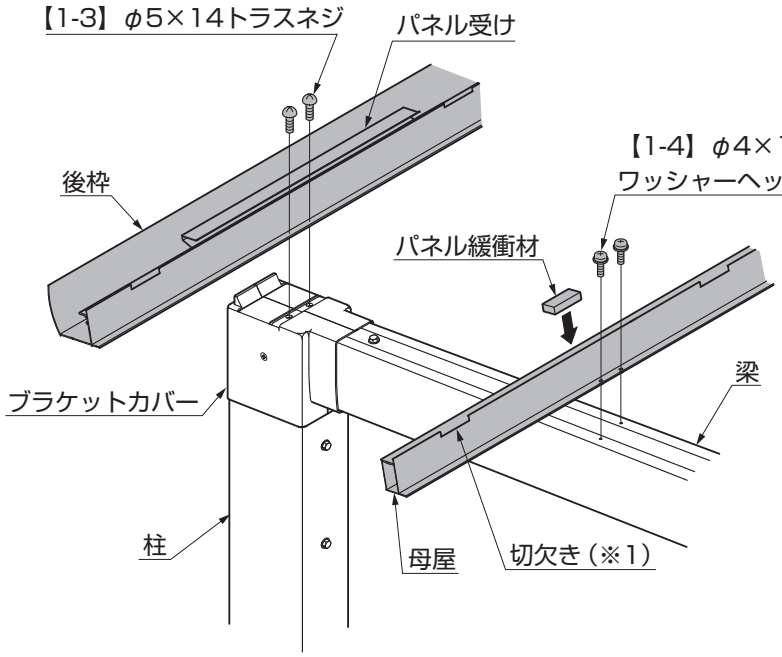


図3-1

①後枠をブラケットカバーに【1-3】で取付けてください。（図3-1参照）

ポイント

●パネル受けを後枠の切欠きと切欠きの間に均等になるように移動させてください。

②梁の中央部にワイド棟木取付金具を【1-4】で取付けて、ワイド棟木を【1-4】で固定してください。（図3-2参照）

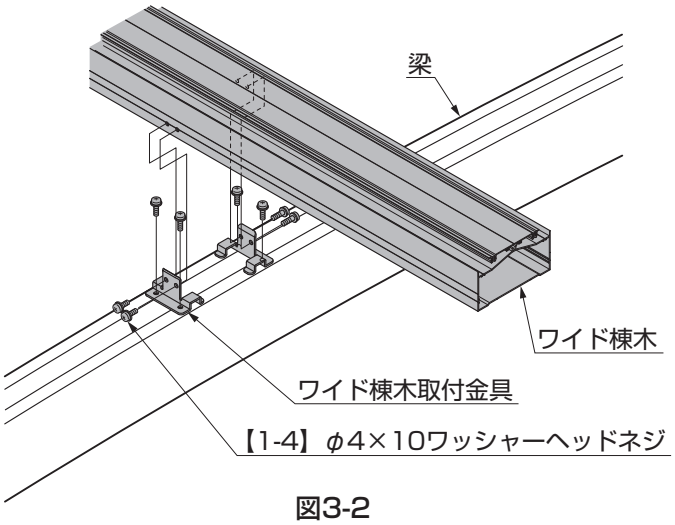


図3-2

③パネル緩衝材を母屋の切欠きと切欠き（※1）の間に貼付けてください。（図3-1、図3-3参照）

④ワイド棟木側にフィン部を向けて、母屋を梁に【1-4】で取付けてください。（図3-3参照）

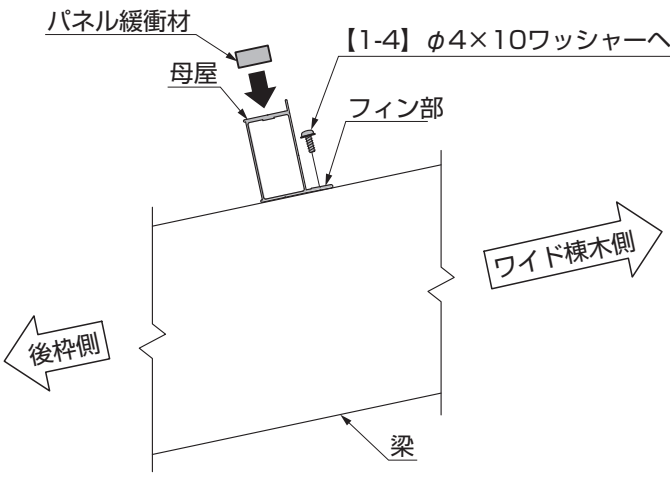


図3-3

ポイント

●柱を移動した場合は、ワイド棟木・後枠・母屋を梁に合わせて後枠はφ5.5、ワイド棟木はφ3.5、母屋はφ4.5の穴加工を行なってください。

●既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。

4. 側枠・アーチの取付け

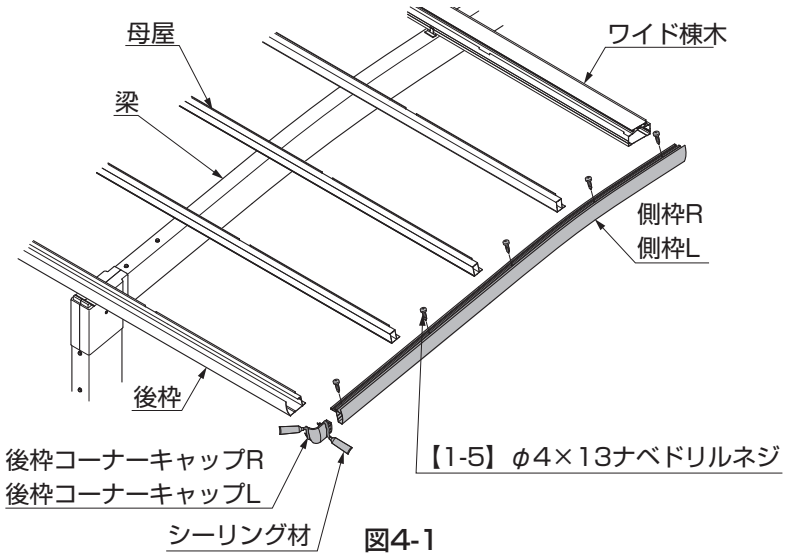


図4-1

①後枠コーナーキャップR・後枠コーナーキャップLにシーリング材を充てんして、側枠R・側枠Lに取付けてください。
（図4-1、図4-2参照）

ポイント

●側枠R・側枠Lには左右があります。切り欠きが入っている方を後枠側にしてください。（図4-4参照）

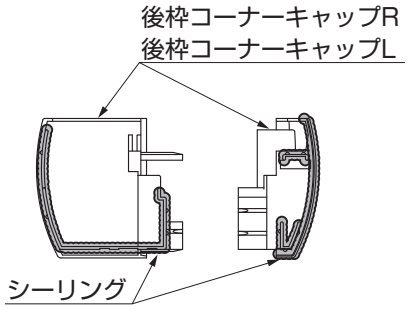


図4-2

②後枠・母屋・ワイド棟木に側枠R・側枠Lの穴に合わせて【1-5】で取付けてください。（図4-1参照）

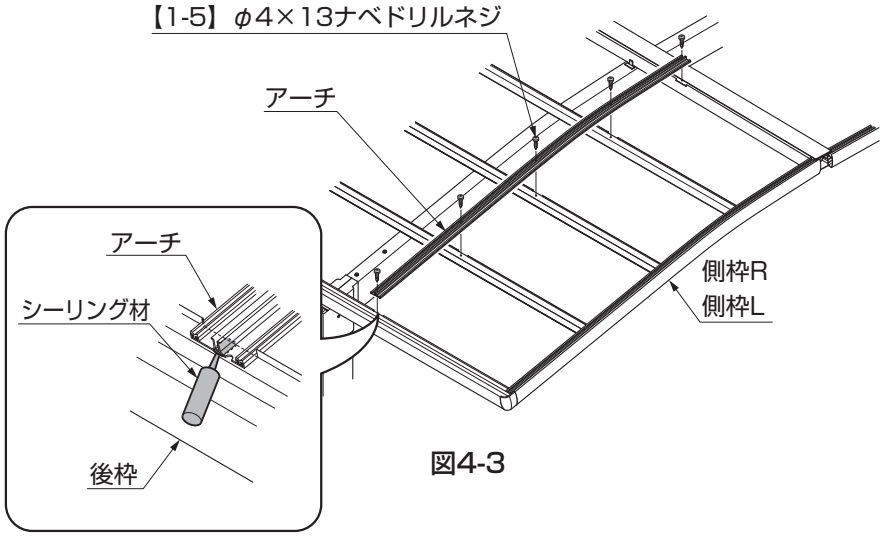


図4-3

③アーチの前後を確認して、ワイド棟木・後枠・母屋にアーチの穴を合わせて【1-5】で取付けてください。
（図4-3、図4-4参照）

ポイント

●アーチを後枠に取付ける前に、アーチと後枠のすき間にシーリング材を充てんしてください。
（図4-3参照）

④屋根枠まわりの対角・水平および柱の垂直を出してください。

補足

●後枠、母屋・ワイド棟木には加工穴はあいていません。

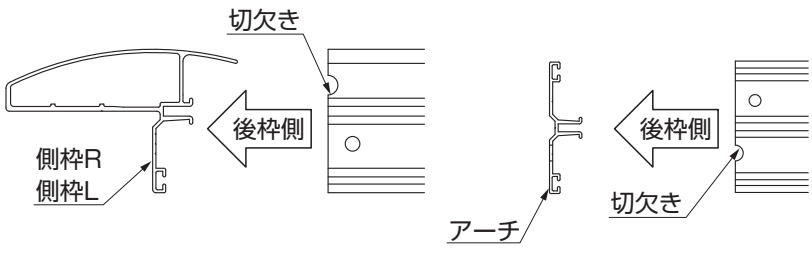


図4-4

5. 屋根パネルの取付け

5-1 屋根パネルの取付け

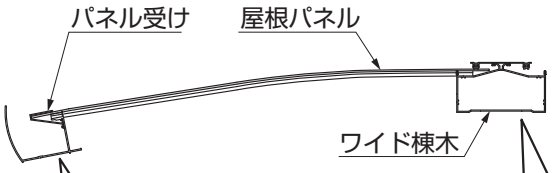


図5-1

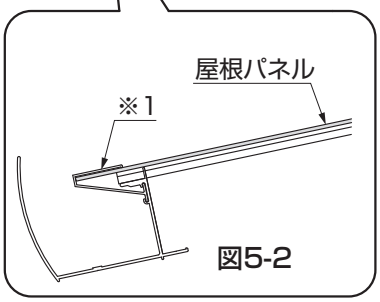


図5-2

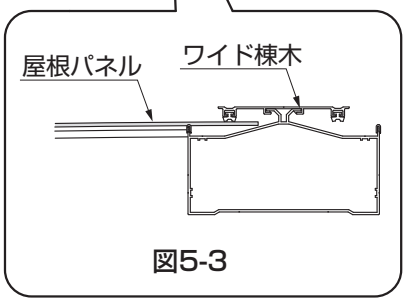


図5-3

①屋根パネルをワイド棟木に差込み、パネル受けに差込んでください。

ポイント

- ●屋根パネルは後枠側に突き当ててください。（※1）
- ●アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- ●屋根パネルは必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

5-2 側枠カバー・アーチカバーの取付け

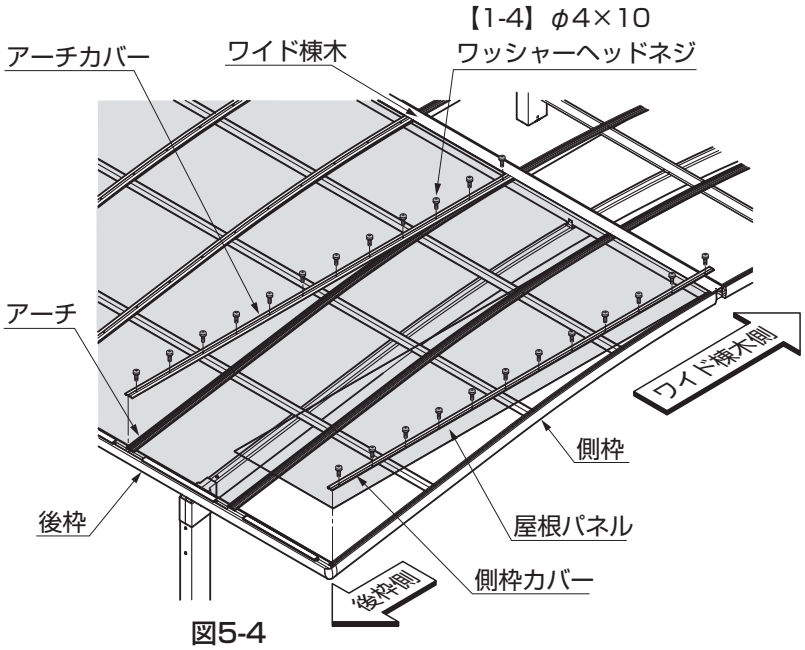


図5-4

①アーチカバー・側枠カバーをワイド棟木に突き当てて、ワイド棟木側からアーチに【1-4】で取付けてください。
（図5-4参照）

ポイント

- ●アーチとアーチカバーがかみ合っていることを確認してください。

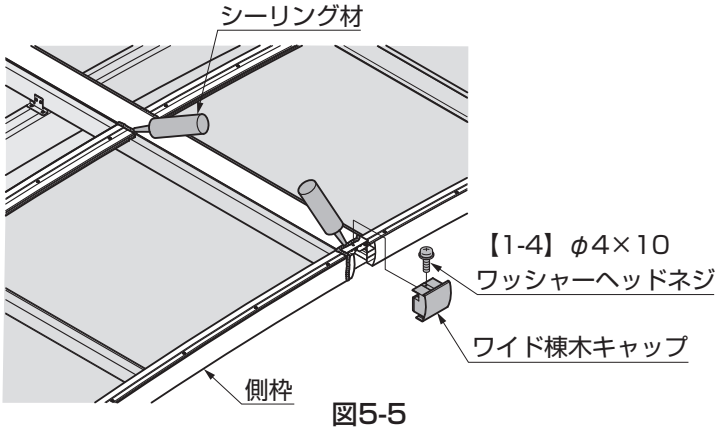


図5-5

②アーチカバーとワイド棟木との間と側枠カバーとワイド棟木の間にシーリング材を充てんしてください。
（図5-5参照）
③ワイド棟木キャップをワイド棟木に【1-4】で取付けてください。
④ワイド棟木とワイド棟木キャップの間にシーリング材を充てんしてください。

5-3 屋根材ホルダーの取付け オプション

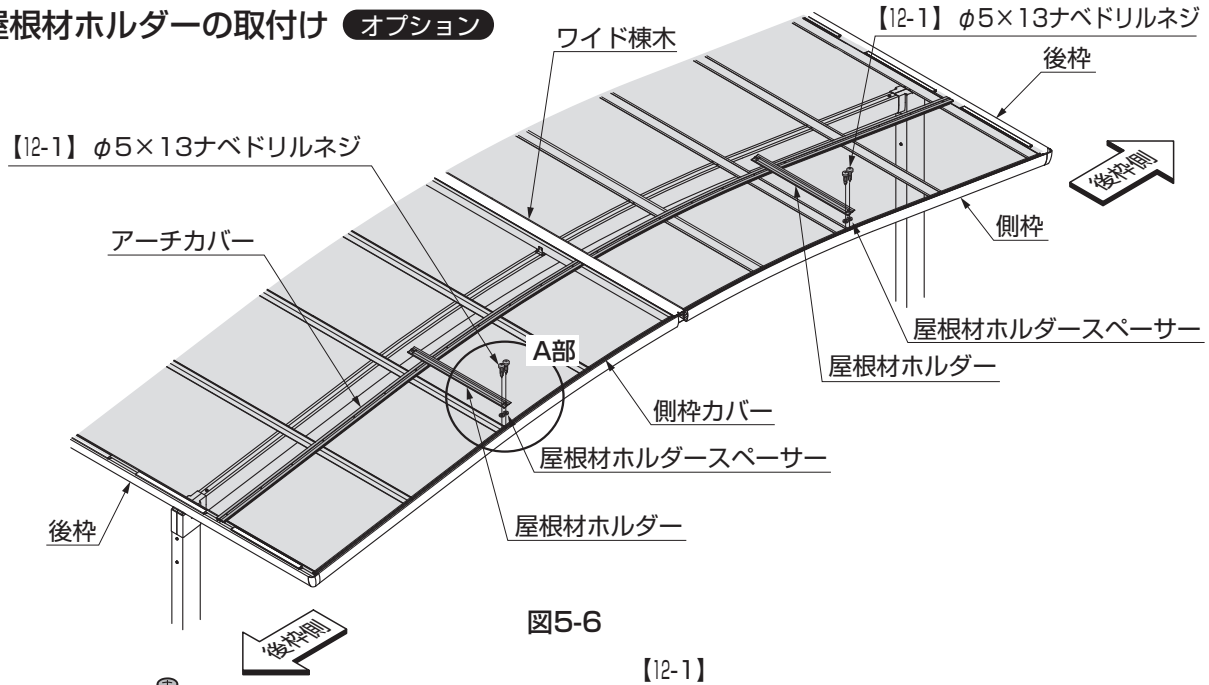


図5-6

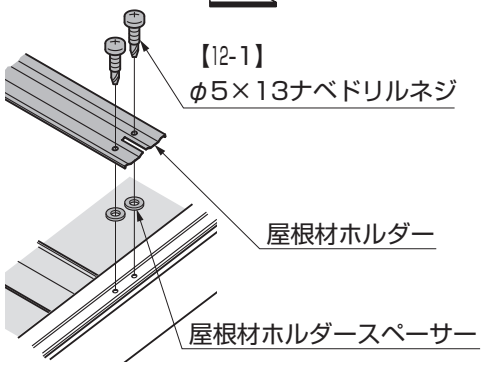


図5-7　A部詳細図

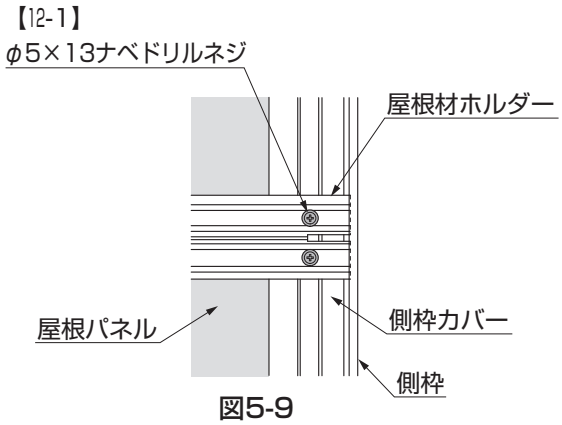


図5-9

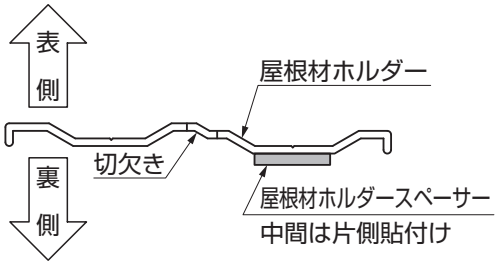


図5-8　屋根材ホルダー断面図

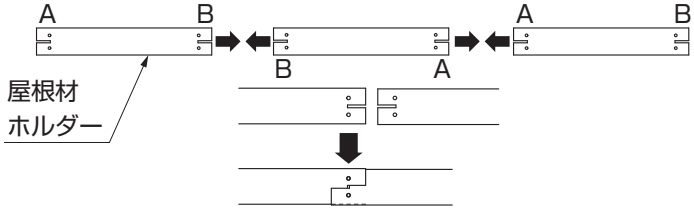


図5-10

①屋根材ホルダーを後枠側から数えて2本目の母屋の真上の位置に【12-1】で取付けてください。(図5-6参照)

ポイント

- ●側枠カバー側のネジだけを固定して、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定してください。(図5-9参照)
- ●2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切り込み部分をかみ合わせるように取付けてください。(図5-10参照)
- ●アーチカバーには、屋根材ホルダー取付用の穴はあいていません。
- ●取付け前に屋根材ホルダー下面に屋根材ホルダースペーサーを貼付けてください。(端部：図5-7、中間：図5-8参照)

6. 竪樋の取付け

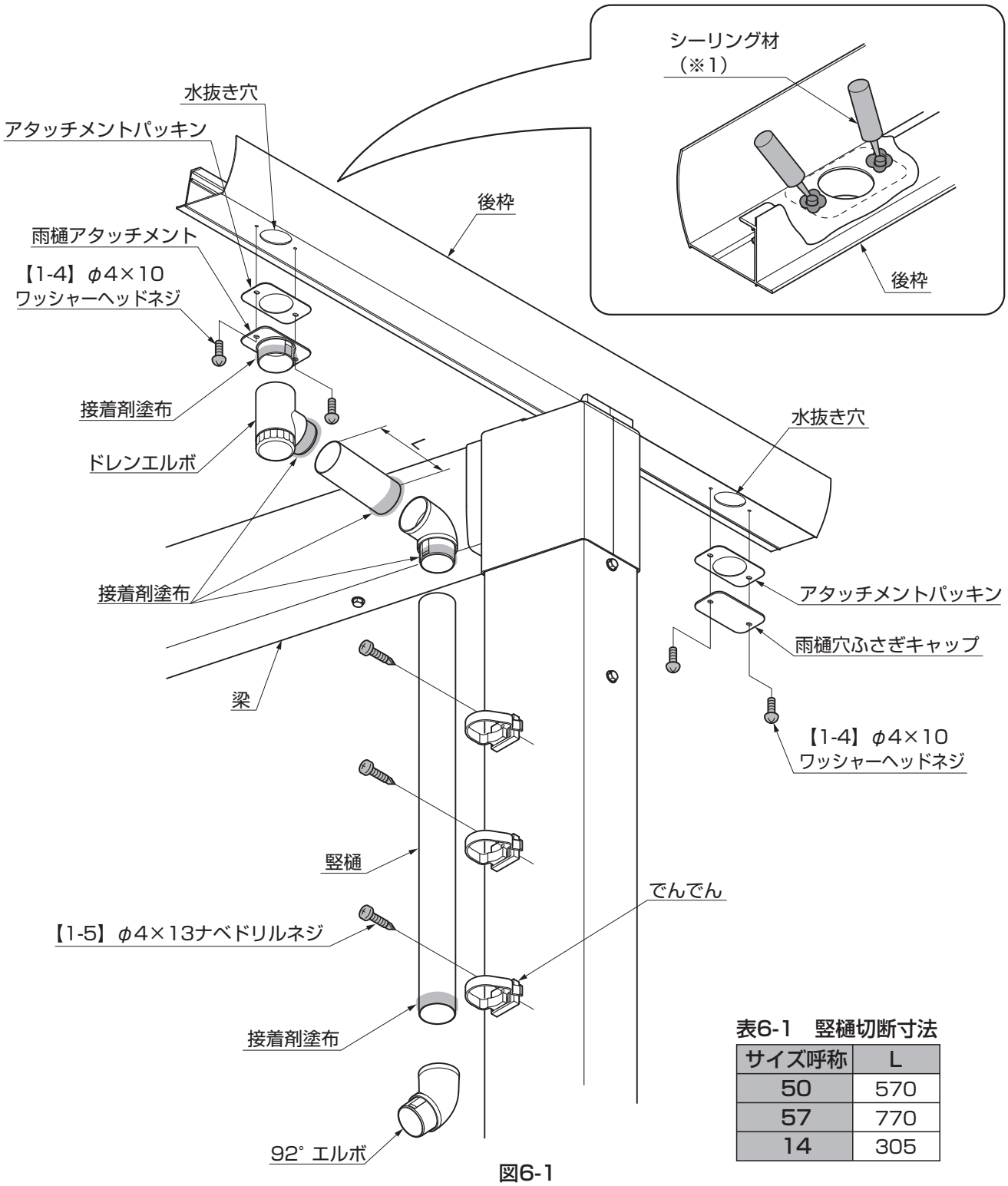


図6-1

表6-1　竪樋切断寸法

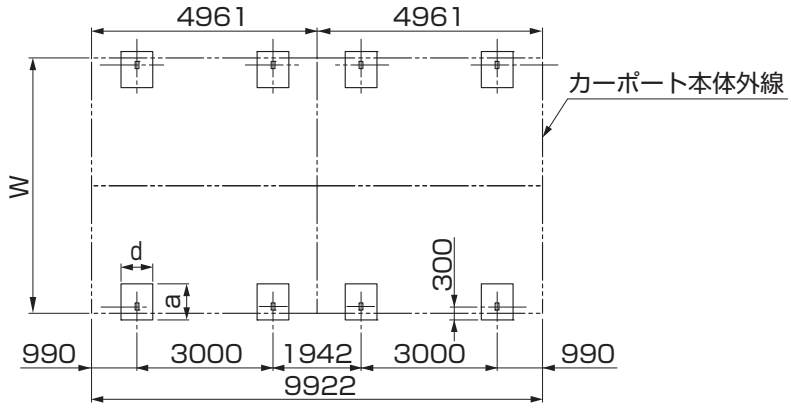
サイズ呼称	L
50	570
57	770
14	305

①竪樋を切断してください。（表6-1参照）
②後枠両端の片方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、竪樋、92° エルボ、でんでんを接着剤と【1-4】、【1-5】で取付けてください。
③もう一方の水抜き穴に、アタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【1-4】で取付けてください。
④ネジ部にシーリング材を充てんしてください。（※1）

4　縦連棟および延長タイプの施工方法

1. 基礎の施工

1-1　奥行き50サイズ+50サイズ



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

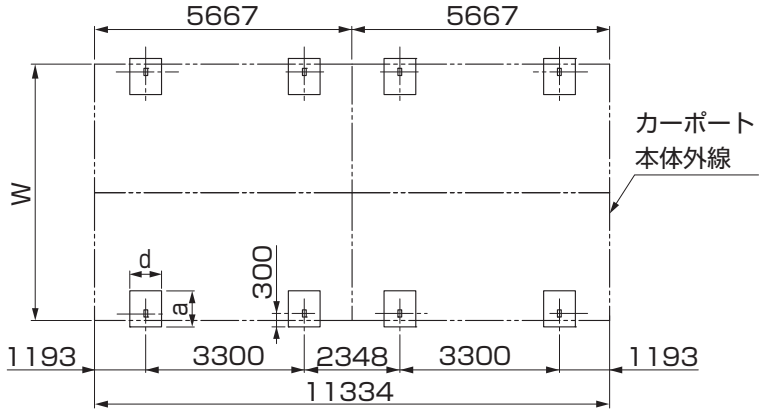
補足

●基礎構造については「2 基本寸法と各部名称　2.基本寸法」を参照してください。
●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

表1-1

サイズ呼称	W	a		d	
		土間なし	土間コンクリート	土間なし	土間コンクリート
36	3625	700	400	700	300
42	4231	700	400	700	300
48	4836	700	400	700	300
51	5140	700	400	700	300
54	5443	700	400	700	300
60	6060	800	500	700	300

1-2　奥行き57サイズ+57サイズ



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補足

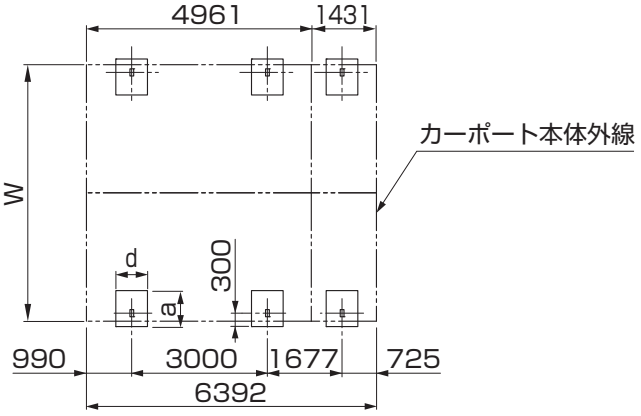
●基礎構造については「2 基本寸法と各部名称　2.基本寸法」を参照してください。
●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

表1-1

サイズ呼称	W	a		d	
		土間なし	土間コンクリート	土間なし	土間コンクリート
36	3625	700	400	700	300
42	4231	700	400	700	300
48	4836	700	400	700	300
51	5140	700	400	700	300
54	5443	700	400	700	300
60	6060	800	500	700	300

1.（つづき）

1-3 奥行き50サイズ＋14サイズ



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

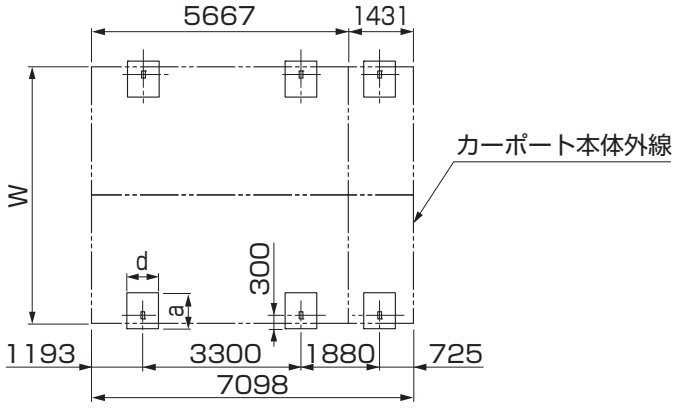
補足

- ●基礎構造については「2 基本寸法と各部名称　2.基本寸法」を参照してください。
- ●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

表1-3

サイズ呼称	W	a		d	
		土間なし	土間コンクリート	土間なし	土間コンクリート
36	3625	700	400	700	300
42	4231	700	400	700	300
48	4836	700	400	700	300
51	5140	700	400	700	300
54	5443	700	400	700	300
60	6060	800	500	700	300

1-4 奥行き57サイズ＋14サイズ



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補足

- ●基礎構造については「2 基本寸法と各部名称　2.基本寸法」を参照してください。
- ●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。

表1-4

サイズ呼称	W	a		d	
		土間なし	土間コンクリート	土間なし	土間コンクリート
36	3625	700	400	700	300
42	4231	700	400	700	300
48	4836	700	400	700	300
51	5140	700	400	700	300
54	5443	700	400	700	300
60	6060	800	500	700	300

2. 本体の連結

2-1 連棟部の加工 ※（ ）内寸法は、化粧カラー用の場合です。

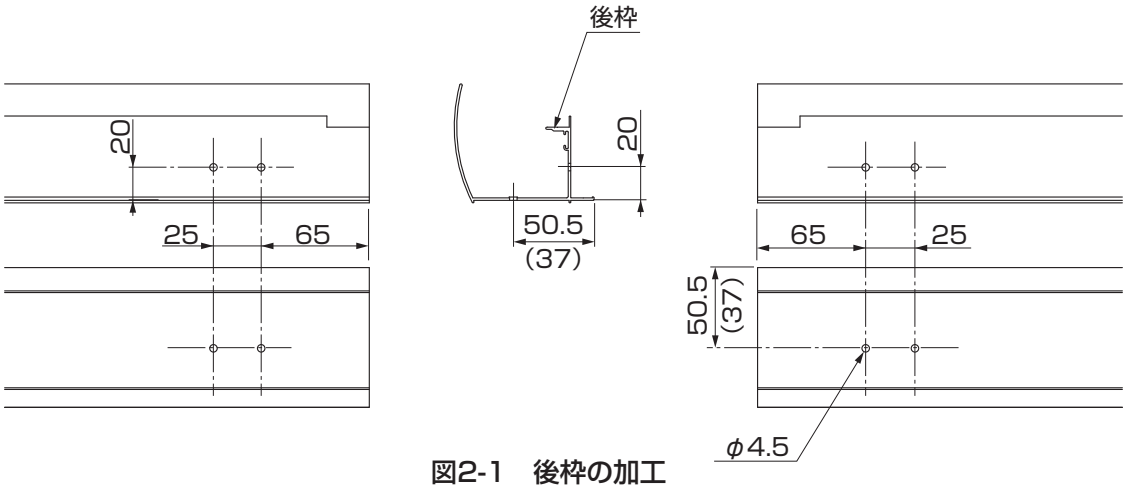


図2-1 後枠の加工

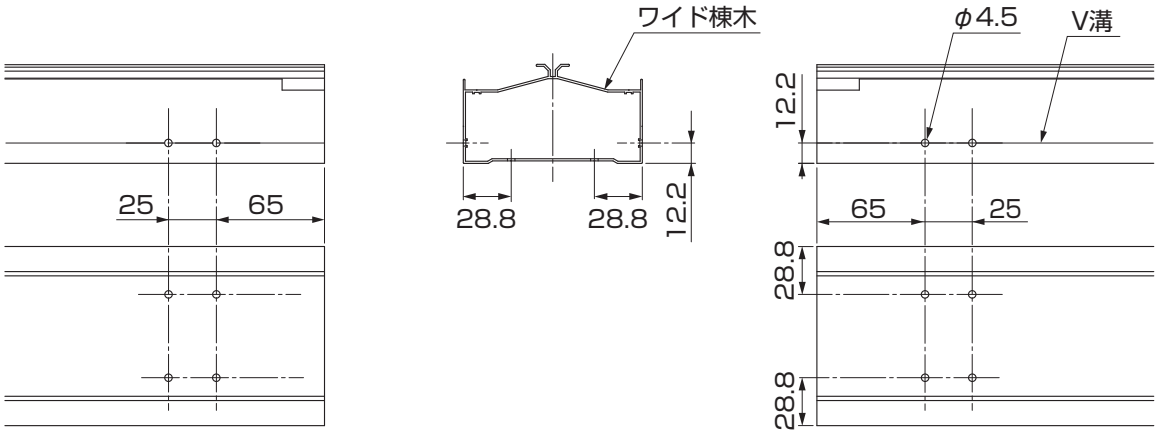


図2-2 ワイド棟木の加工

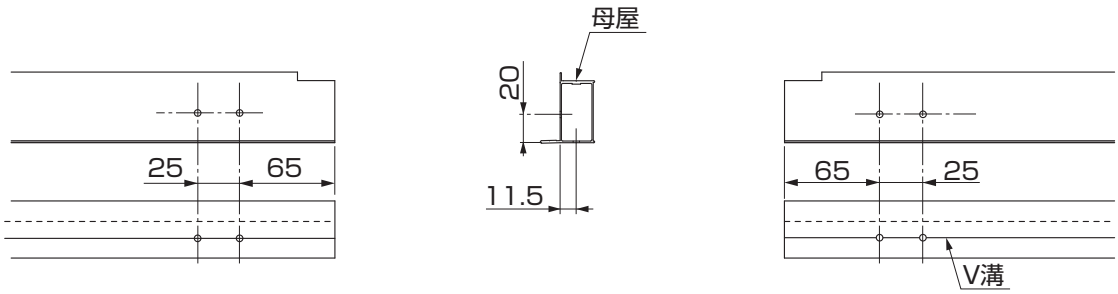


図2-3 母屋の加工

①後枠・ワイド棟木・母屋の連棟側を穴加工してください。（図2-1、図2-2、図2-3参照）

ポイント

●母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。

2.（つづき）

2-2 連棟部の連結

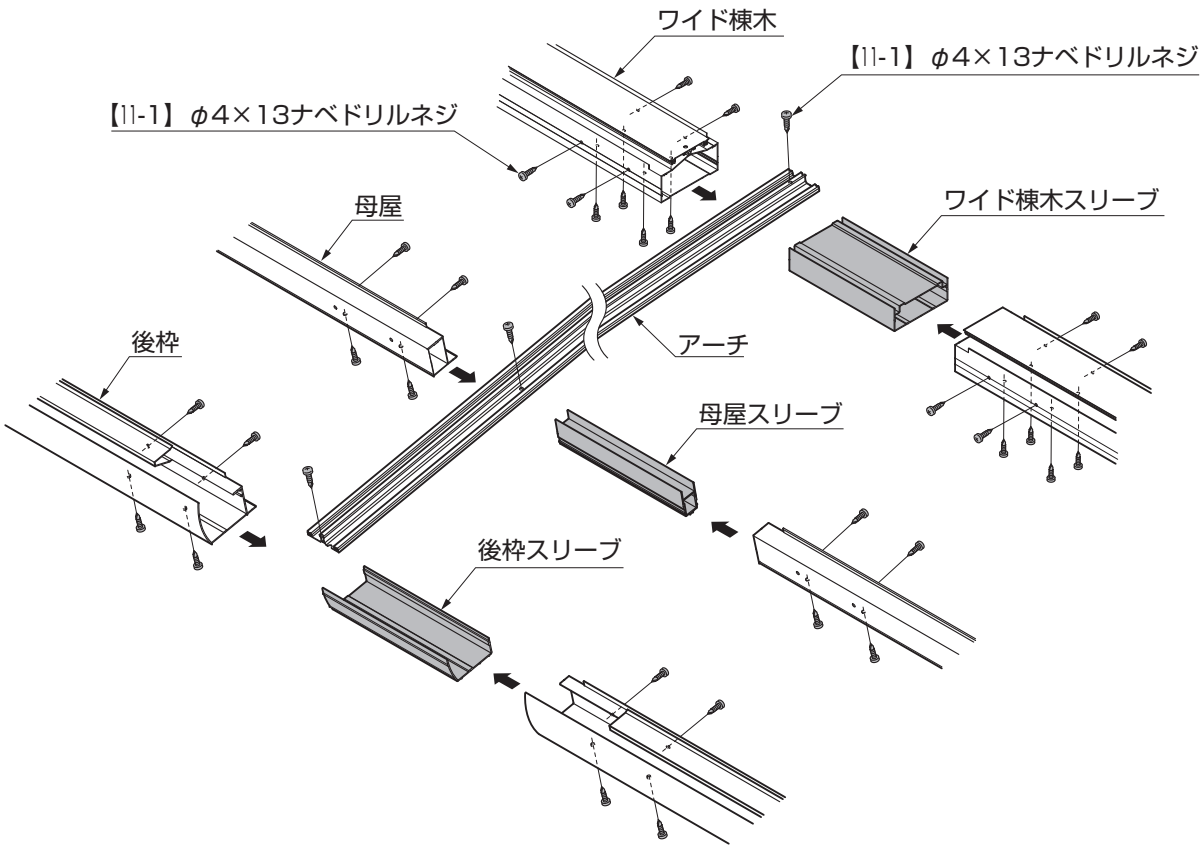


図2-4

①ワイド棟木・母屋・後枠にそれぞれワイド棟木スリーブ、母屋スリーブ、後枠スリーブを【11-1】で取付けて連結してください。
②全ての【11-1】の回りにシーリング材を充てんしてください。

ポイント

●連棟部分以外の組立ては、「3 基本の施工方法 」を参照してください。

2-3 シーリング処理

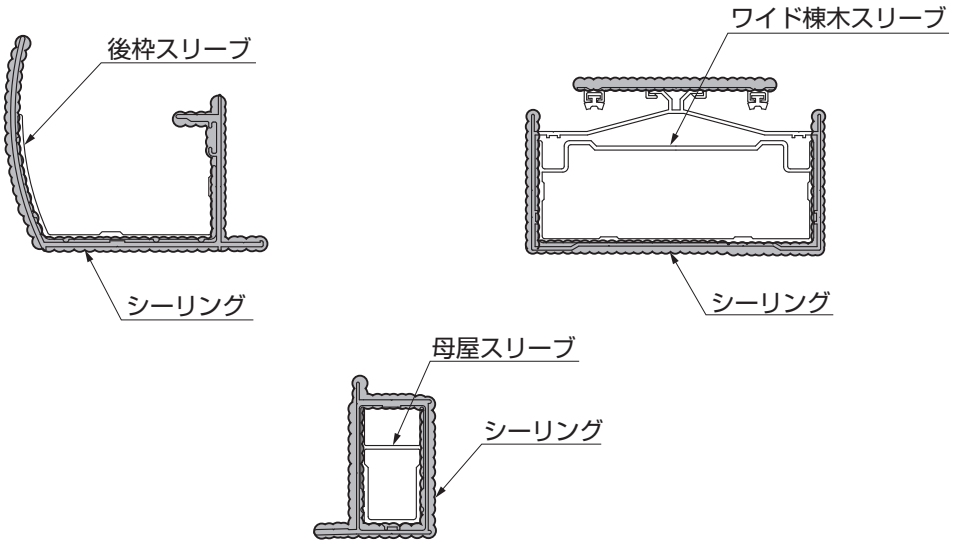


図2-5

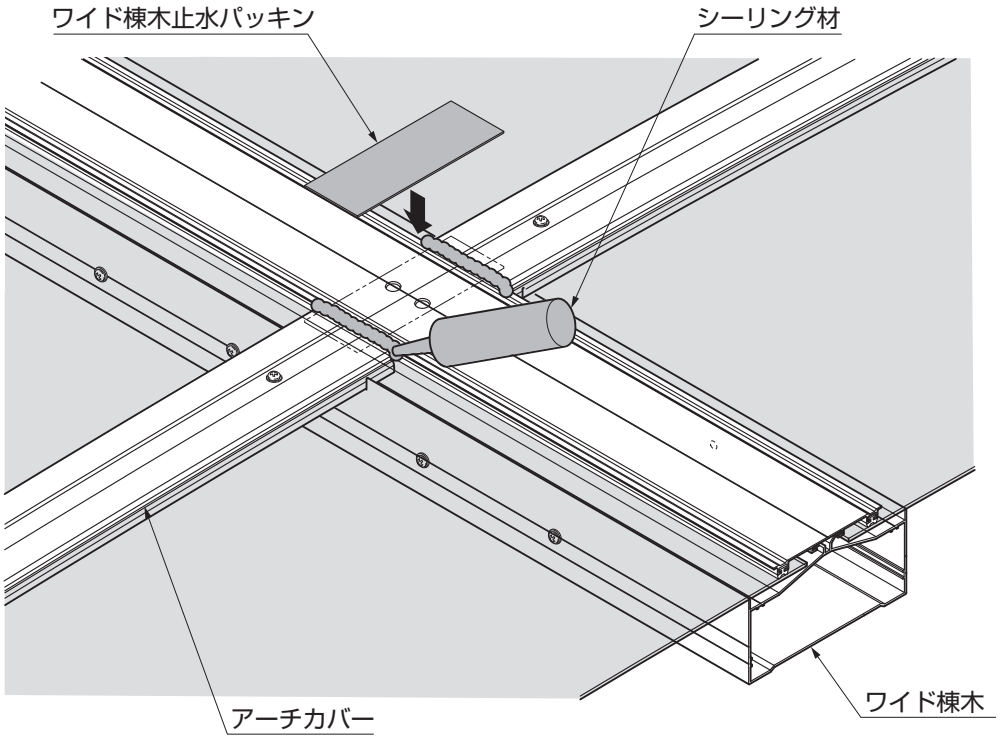


図2-6

①連棟部分にシーリング材を充てんしてください。(図2-5参照)
②ワイド棟木の接続部分に、ワイド棟木止水パッキンを貼付けてください。(図2-6参照)

メモページ

D416_200703A
MAL-438_200703A

メモページ

D416_200703A
MAL-438_200703A

取説コード
D416

JZZ614267A
200703A_1039
200804B_1039